

2015 AUTOBACS SUPER GT Round 4

FUJI GT 300km RACE

2015年8月8日(土)~8月9日(日)

予選 レポート



場所: 富士スピードウェイ (静岡県) 1周 4,563 km

天候: 曇り / コース: ドライ / 気温: 27℃ / 路温: 34℃ / 観客動員数: 20,400 人

苦難を乗り越え参戦にこぎ着ける

2015年 SUPER GT シリーズは、ここ富士スピードウェイ(静岡県)で第4戦を迎える。この日の富士スピードウェイは曇り空の一日となった。7月25日の菅生テストでのクラッシュにより、一時は富士への参戦も危ぶまれたが、メカニックの不眠不休の作業及び関係各位の御協力によりマシンは息を吹き返し、金曜日に無事サーキットに持ち込む事が出来た。午前中の練習走行ではマシンのチェックに時間を取られたが、午後の予選に向けて出来る限りのセットアップを進めた。今回のレース距離は300km、長いストレートが特徴である富士スピードウェイでの高速レースである。

8月8日(土)

<公式予選 Q1/ 14:15~14:30>

昼になり気温も多少上がってきた。今回もノックアウト方式の予選である。予選は2回あるが、上位13台のマシンがQ2に進める。Q1は井口卓人が担当した。計測2周目で他車のコースアウトがあり赤旗一時中断。14時28分、残り10分で予選再開。井口は順調にタイムを刻み、計測3周目に1分38秒651のタイムを出し11番手でQ1を通過する。



www.rdsport.net

<公式予選 Q2/ 15:08~15:20>

Q2は山内英輝が担当しアタックに入る。計測3周目に1分38秒390、計測4周目には1分38秒674を出す。計測3周目が4輪脱輪と判定されタイム抹消となった為、4周目のタイムがベストタイムとなった。結果10番手で予選を終えた。なお GT500クラスのポールポジションは#38 ZENT CERUMO RC F が、GT300クラスは#55 ARTA CR-Z GT が獲得した。



■本島監督 コメント



菅生のクラッシュで一時は富士に参戦するのも難しい状況でしたが、メカニックの不眠不休の作業、STI の方々の努力により奇跡的に間に合わせる事が出来ました。

井口選手も山内選手もしっかり仕事をしてくれましたが、特に井口選手が Q1で頑張ってくれた事が今日の結果につながっていると思っています。ドライバーの気合のこもった走りをきっちりカバー出来る様、明日に向けてチーム一丸となり気を引き締めて臨みたいと思います。

予選の詳細に関しては SUPER GTホームページ <http://supergt.net/pages> 、
またSUBARUモータースポーツニュース <http://www.subaru-msm.com/2015/sgt/> もご覧ください

2015年8月8日
SUBARU BRZ
アールアンドデースポーツ
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net